

STANDARD PLUS APPLICATIONS

A CALLERLAB Supplemental Document
Showing the Most Standard
Formations and Arrangements for Each
of the Plus Calls

Developed by the
Choreographic Applications Committee
of CALLERLAB

Revised February 22, 2021



The International Association
Of Square Dance Callers

改訂履歷

Date	Page	Change
1992		Original Document Published
1995		First Revision
1997		Second Revision
2001		1997 Document revised as follows: 1) Eight Chain Thru added
2005		1) Eight Chain Thru deleted and moved back to Mainstream 2) Formations listed for 8 dancers using the CALLERLAB Formation Sheet names. In some cases this required the discussion of several additional possibilities. 3) Changes made to reflect current usage.
10/09/2006		Moved Spin Chain Thru to Basic and Mainstream Standard Applications.
09/03/2015		Moved Extend to Basic and Mainstream Standard Applications.
02/22/2021		Moved 3/4 Tag to Mainstream Standard Applications. Updated the Purpose and Criteria sections. Adjustments to format and to Arrangement references.

Standard Applications Books

© 1991-2021 CALLERLAB, Inc. Topeka, KS, The International Association of Square Dance Callers. Permission to reprint, republish, and create derivative works without royalty is hereby granted provided this notice appears. Publication on the Internet of derivative works without royalty is hereby granted, provided this notice appears. Permission to quote parts, or all of, this document without royalty is hereby granted, provided this notice is included. Information contained herein shall not be changed nor revised in any derivation or publication.

目次 プラス

目的.....	3
スタンダードアプリケーションの基準	4
Acey Deucey	5
All Eight Spin the Top	5
(Anything) and Roll.....	5
(Anything) and Spread.....	5
Chase Right.....	5
Coordinate.....	6
Crossfire.....	6
Cut the Diamond.....	6
Diamond Circulate.....	6
Dixie Grand.....	6
Explode the Wave	7
Explode and (Anything)	7
Fan the Top.....	7
Flip the Diamond	7
Follow Your Neighbor	8
Grand Swing Thru	8
Linear Cycle	8
Load the Boat.....	8
Peel Off.....	9
Peel the Top	9
Ping Pong Circulate	9
Relay the Deucey	9
Single Circle to a Wave.....	9
Spin Chain and Exchange the Gears.....	9
Spin Chain the Gears.....	9
Tea Cup Chain	10
Track Two	10
Trade the Wave.....	10

スタンダード プラス フォーメーションとアレンジメント

目的

モダンスクエアダンスの世界では、ダンサーやコーラーに対して、出かけることを奨励しており、見知らぬ人と一緒に踊ったり、コールできることを期待しています。

これは、ダンサーが与えられたプログラム(例えばMS等)の中で、相応なレベルの能力を確実にする為に、適切なトレーニング(講習、踊りこみ)を受ける必要があることを意味します。

コーラーは、適切なプログラムリストにどの動きが含まれているかを理解し、正しいタイミング、スムーズなブディーフロー、および明瞭な発声に注意を払いながら、定義に従ってその動作を使用する必要があります。

さらに付け加えるならば、コーラーは、未知のダンサーの能力レベルについてある程度の推測ができなければなりません。

(訳者注: 初めてコールするダンサーのレベルを把握してコールすること。)

この本の目的は、コーラーが、各コールの多彩な開始ポジションから、成功する確率が高いものを選択するという重要なスキルに関し、多くの経験により蓄積された知識を文書化することです。

この選択を行うには、コーラーは平均的なダンサーの知識について期待できる現実を知らなければなりません。現実的には、多くの教える人は、細部を教える難解さには教える内容の深さに関しては妥協を必要とし、それを教える時間も制限されています。時間が経つにつれ、これらの妥協点に関して多かれ少なかれ共通点が生まれてきました。

スタンダード対エクステンデッドアプリケーションの考え方は、モダンスクエアダンスのコレオグラフィーの側面として、学んでゆく上での手助けとなるよう、開発されたものです。

私達(CAC)の意図は、成功しそうなコールのコレオグラフィーと、混乱しそうなコールのコレオグラフィーを見分けるための、コーラーの手助けとなることです。

この目標を達成するには、コーラーがあらかじめ、ダンサーが最も気持ちよいと思われる、一定のフォーメーションや、男性-女性の配列を知っていることが必須です。

これはコールごとに異なるため、コーラーは使用されるすべてのコールについてこれを認識する必要があります。

この文書では、これらのアプリケーションを『スタンダード』と呼びます。

このリストされたコールのアプリケーションは、コーラーが100%のダンサーが成功することを合理的に期待できるものです。

COMMENTS欄は、いくつかの手がかりや位置のヒントが必要かもしれないことを記載しています。

リストにないバリエーションはエクステンデッドアプリケーションです。

各コールに対してスタンダードアプリケーションまたは「安全な」アプリケーションのみをリストすることは、コーラーがこれらを教える必要がある唯一のバリエーションであること、またはエクステンデッドアプリケーションを決してコールしてはいけないことを暗示していると解釈すべきではありません。創造性と多様性は現代のスクエアダンスの重要な部分であるため、一部の拡張アプリケーションの使用が明らかに適切な場合があります。ここにリストされている、あまり一般的ではないアプリケーションをいくつか使用することで、豊富なバリエーションが提供される場合があります。それ以外の場合は、スタンダードコレオグラフィーのスムーズで成功したシーケンスを優先する必要があります。成功するコーラーは、その時のそれぞれを正確に特定して利用する方法を学んだ人です。これは、今日のコーラーにとって、コレオグラフィーの難しさを学び、理解し、コントロールできることが重要であることを意味します。彼らは、自分のコレオグラフィーがスクエアを崩す可能性がどこにあるかを認識し、必要に応じて調整する準備ができていなければなりません。

1991年に「スタンダードアプリケーション」の初版が作成されて以来、この文書の存在は、オープンなダンスやコンベンションで期待される能力のレベルを説明するために使用される用語に影響を与えてきました。そのことが、ダンスでどのアプリケーションがコールされるかにも影響を与えました。この意識の向上により、コーラーの期待とダンサーの能力がより良く一致することを願っています。

スタンダードアプリケーションの基準

適切なトレーニングに加えて、ダンサーの成功は通常、次の 3 つの要素によって決まります。

- 1. 経験:** ダンサーは、もし、コールが特定のフォーメーションとアレンジメントを使って行なわれたら、十分な以前からのダンスの経験をもって、成功することができるでしょう。特定のアプリケーションでの快適さと自信は、繰り返すことで改善されます。したがって、コーラーが最も頻繁に使用する傾向のあるフォーメーションとアレンジメントは、標準として定義される可能性があります。
- 2. いつもの感じ:** たとえ状況が新しいものであっても、ダンサーはアクションや結果に馴染みのある感覚を感じれば成功します。そのアプリケーションが通常にコールされない場合でも、ダンサーがそのコールの特別なフォーメーションとアレンジメントをスタンダードなものと同様にうまく踊ることが期待できる場合があります。
- 3. コーラーの判断と支援:** コーラーがフロアの能力を判断し、必要に応じて微妙な支援や合図を提供するのが上手であれば、ダンサーは成功します。この文書は、適切なボディーフロー、段階的な難易度の増加、最小限のヒントの使い方を学んだ有能なコーラーからなる委員会の投票によって編集されました。私たちは、新しいコーラーのスキル向上を支援するために、難易度が上昇する箇所と、ヒントが必要な箇所を示すように努めました。

スタンダードアプリケーションの文書は1つの目的で始まりましたが、少なくとも3つの異なる方法で使用できる文書に発展しました。

- a) 本来の目的は、コーラーが未知のダンサーの可能な能力を予測する必要があり、参照するための説明です。
- b) 2 番目の目的は、生徒をモダン スクエア ダンスの広い世界に入門させる準備をする際に、どのアプリケーションを重視すべきかについて教師向けの規範的なガイドとして提供することです。時間が許す限り、コーラーはクラスの興味や能力に応じて追加のアプリケーションを教えることをお勧めします。
- c) 3 番目の目的は、スタンダードとエクステンデッドの間のグレーゾーンにあるアプリケーションをダンサーが正常に完了できるように、コーラーの判断力と能力を開発するのに役立つインスピレーションを与える原資としてです。

プラスプログラムの各コールについて、上記の基準に従って、経験豊富なコーラーが現時点でスタンダードと考えるであろう特定のフォーメーションとアレンジメントを次の表に示します。配置番号は、CALLERLAB Web サイトから入手できる「Names & Pictograms of Selected Formation Arrangements」文書で割り当てられた番号に対応しています。

多くの場合、スタンダードアプリケーションとエクステンデッドアプリケーションの間にはグレーゾーンが存在します。一部のコールの使用法は、ある場所では一般的でも、別の場所ではまれです。コーラーの意識を高め、多様性を促進するために、これらの文書には、助けとなる言葉が必要な場合を示すコメントが含まれています。

この文書は定期的に見直され、Plus プログラムの現状を反映しています。詳細については、改訂履歴を確認してください。

CALL FORMATION(S) ARRANGEMENT(S) COMMENTS

Acey Deucey

Parallel Waves or Parallel Two-Faced Lines (Right or Left Handed)	All Arrangement	最も一般的な動き方は、パラレル ライトハンドウェイブとツーフェイスト ラインからである。
---	-----------------	--

All Eight Spin the Top

Right and Left Grand Circle	Boys facing CCW and Girls facing CW	男性がCW、女性がCCWを向いた、ライト アンドレフト グランドサークルでも、同様に成功しやすい。しばしば、2回(twice)コールされる。
Wrong Way Thar	Center 4 all the same gender	

(Anything) and Roll

Various formations and arrangements depending on the (Anything) call	<p>もし、(Anything) and Roll が、指示されたペアがお互いに異なる方向に回転し、終わった時に向かい合うようになるコールがされるなら、ほぼ成功が保証されている。 (訳者注:Roll の後に向かい合って終ることが成功に近い。) さらに、Roll to Face と言えば助けになる。 例:Star Thru and Roll , Slide Thru and Roll , California Twirl and Roll , Partner Trade and Roll. どちらの壁を向いたら良いか、戸惑いを招くこととして、Anythingのコールに、1/4や1/2のターンが含まれていて、お互いダンサーが同じ方向に動いている時に起こる。これらのコールは、ゲットアウトの直前に使用するか、終わった場所に関する情報を明確にする、柔軟なコールで補うのが最適である。 例: Squared Setから: Heads Touch 1/4 and Roll and Slide Thru (should be facing your corner). Tidal Waveから: Single Hinge and Roll (should be in Facing Lines). Right-Hand Wavesから:Trade and Roll, change hands, Left Allemande</p>
--	---

(Anything) and Spread

Various formations and arrangements depending on the (Anything) call	<p>最も一般的な、and Spread が含まれる使い方: From a Static Square : Heads Star Thru and Spread From "0" (Normal Couples) Two-Faced Lines : Ferris Wheel and Spread From Lines Facing Out : Wheel and Deal and Spread From "1" (Boys facing in) Parallel Right-Hand Waves : Follow Your Neighbor and Spread</p>
--	--

Chase Right

Lines Facing Out	"0" (Normal Couples)	<p>スムーズなボディフローを注意深く考えて、セットアップする。 Walk and Dodge , Chase Right は、ナイスコンビネーションである。</p>
Centers Active in Back-to-Back Couples (Center Four Chase Right)	"0" (Normal Couples)	<p>この使い方は、あまり一般的ではない、ダンサーをセンターにとどめる手助けとなる用語が必要となる。 (例:Heads Pass Thru and in the center Heads Chase Right.)</p>

CALL FORMATION(S) ARRANGEMENT(S) COMMENTS

Coordinate

Right-Hand Columns	"0" (#1 & #3 dancers are Girls and #2 & #4 dancers are Boys)	左記と異なるアレンジメントでは、かなり壊れることが予期される。
--------------------	--	---------------------------------

Crossfire

Right-Hand Parallel Two-Faced Lines	"0" (Normal Couples)	これが、最もよくある使い方である。下記の2つも、よく成功する使い方である、しかし、これらの隊形、アレンジメント以外から使えば壊れる重大な原因となる。
Right-Hand Tidal Two-Faced Line	"0" (Normal Couples)	Each Four Crossfire と言うことが、きれいにウェイブで終ることを助けてくれる。
Center Right-Hand Two-Faced Line (Centers ...)	Normal Couples in the Two-Faced Line	コーラーが、誰が動くかを、はっきりさせれば、成功する。

Cut the Diamond

Right-Hand Diamonds (All four Diamond centers in one wave)	"1/2" (Boys as centers, Girls as points)	"0"(男性がポイント)のアレンジメントで、いくつかの手助けとなる言葉と共に使えば、成功するだろう。他のアレンジメントでは、カットよりも、フリップの方が成功しやすい。 (Diamond Circulateのコメント参照)
--	--	---

Diamond Circulate

Right-Hand Diamonds of Left-Hand Diamonds (All four Diamond centers in one wave)	All Arrangements	"0" または"1/2" (センターが同性)が最も一般的である。 他のアレンジメントでも、たいてい成功する。 ポイント ツー ポイント ダイヤモンドでは、特に、カットやフリップをコールする時、手助けの用語が必要である。フェイスングダイヤモンドは、スタンダードではない。
Center Four Dancers in a Diamond (Centers ...)		

Dixie Grand

Double Pass Thru	"0" (Normal Couples)	他の隊形や、アレンジメントからでも、合図の言葉、ライト、レフト、ライト、は成功を増加させる。
Single File Promenade with BBGG and Boy's U Turn Back	Arrangement as indicated at left.	
Trade By	"0" (Normal Couples)	これらは、あまり一般的ではない。 Everyone begin with the right , Dixie Grand.という、きっかけの言葉が必要であろう。
Eight Chain Thru		

CALL FORMATION(S) ARRANGEMENT(S) COMMENTS

Explode the Wave

Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	アレンジメントが、"1"、"2" のライトハンド ウエイブからは、きっかけとなる、boys with boys and girls with girls の補助用語が、コールの前に与えられると、より成功をもたらす。
Left-Hand Parallel Waves	Girls as ends and Boys as centers	成功する、なぜならば、回転する時の方向と、終る時の動きが"0" のライトハンド ウエイブからと同じだからである。
Tidal Wave	"0" Right: BGGBBGGB Left: GBBGGBBG	Each 4 ということが成功の手助けになる、そして、最も良いのはLeft Allemande の直前に使うことである
Center Right-Hand Wave (Centers...)	Same Arrangements in wave as above	コールは、センターズにかけられる。成功するには、コーラーが、誰が動くかはっきり言うことである。

Explode and (Anything)

Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	成功は、Anything のコールに大いに依存するだろう。言葉を強調することが、成功の手助けになる。成功は、最も良いAnything コールとして、ライトハンドプルバイ(例: Right and Left Thru , Square Thru)で始まるもの、または、右手を使う(例: Touch 1/4 ,Box the Gnat)ものがあげられる。
Left-Hand Parallel Waves	Girls as ends and Boys as centers	
Tidal Wave	Right: BGGBBGGB Left: GBBGGBBG	Each 4 ということが成功を増すだろう。Explode and Swing が、シンギング(Singers)での良い例である。
Center Four dancers in a Right-Hand Wave (Centers...)	BGGB wave	コーラーが、誰が動くか、はっきりさせていると成功する。 (例: Center Wave Explode and...)

Fan the Top

Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	これは、"安全"なコールであることはほとんどない、なぜならば、センターが左手から動き始めなければならぬ動きで(ライトハンドウエイブからコールされた場合)、それは、多くのコールにおける、右手から始める、という自然な傾向を阻むものだからである。 最も良い成功するコールは、全員が右手を使ったコールの後に連続して使うことである。 例: Single Hinge , (Girls connect) Fan the Top.
Center Four dancers in a Right-Hand Wave (Centers...)	BGGB wave in the center	
Right-Hand Tidal Waves (Each Four...)	BGGB in each four	

Flip the Diamond

Right-Hand Diamonds (All four Diamond centers in one wave)	"1/2" (Boys as centers, Girls as points)	"0" (ボーイズがポイント)の場合は、手助けの言葉を言えば成功するだろう。 (Diamond Circulateのコメント参照)
--	---	--

CALL FORMATION(S) ARRANGEMENT(S) COMMENTS

Follow Your Neighbor

Right-Hand Parallel Waves	"1" (Boys facing in and Girls facing out)	And Spread がしばしば続く、do not Spread を加える場合がある。
Center Four dancers in a Right-Hand Box Circulate	Boys facing in and Girls facing out	これは、あまり一般的ではない。ボックスをはっきりと指示しなければならない。

Grand Swing Thru

Right-Hand Tidal Wave	All Arrangement	最も一般的なのは、BGGBBGGB、または GBBGGBBG の"0" or "1/2" タイダルウェイブからである。
Left-Hand Tidal Wave	All Arrangement	Grand Left Swing Thru は、全てのアレンジメントでだいたい成功するであろう、しかし、"0" or "1/2" (GBBGGBBG または、BGGBBGGB) からが、最も良く使われる。

Linear Cycle

Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	違うアレンジメントは、ワークショップを行わないと、安全ではない。
Center Four dancers in a Right-Hand Wave (Centers...)	BGGB center wave	コーラーが、誰が動くか、はっきり言えば、成功する。アレンジメントが、"0" のクォータータッグから行い、ホームに戻るのが、良いゲットアウトである。
Right-Hand Tidal Wave	"0"(BGGBBGGB)	Each Four Linear Cycle とすることが、成功を増す、しかしながら、これは一般的ではなく、ダンサーは、Recycle の終わりの場所に止まりがちである。
Left-Hand Parallel Waves	"0"(GBBGGBBG) ※訳者注 "0" Boys as centers and Girls as ends が正しいと思われる	これはスタンダードではな、手がかりの言葉を必要とする、しかし、終わりの隊形が、ノーマルラインになるので左記アレンジメントであれば、ワークショップをすれば、まあまあやさしい。

Load the Boat

Facing Lines	"0" (Normal Couples)	エンズ Lord the Boatは、どんなアレンジメントからでも、たいてい成功する。 センター オンリー Load the Boatは、ハーフサッシュェイカップルがセンターにいる場合のみ、たいてい成功する。("0" (BGGB) または、"2" (GGBB) のライン)
--------------	----------------------	---

CALL FORMATION(S) ARRANGEMENT(S) COMMENTS

Peel Off

Completed Double Pass Thru	"0"(Normal Couples)	いくつかの地域では、Peel Offは、真に"安全"なバリエーションがなく、めったにコールされない。これが、最も一般的な使われ方である。
	"4" (Half-Sashayed Couple followed by a Normal Couple)	アレンジメント"4"は、終わりの隊形が、ノーマルラインとなるので、ダンサーは間違えても、簡単に修正できる。

Peel the Top

Right-Hand "Z" formed from Parallel Right Waves, Tidal Wave or Center Wave	"Z" formed from "1/2" Right-Hand Wave plus(加える) the call Ends (Girls) Fold	コールは、もっぱら、この隊形とアレンジメントからかけられる。タイダル ウェーブからは、Each Fourと言い、センター ウェーブには、Centers... と言う。
--	--	---

Ping Pong Circulate

Right-Hand 1/4 Tag	"0" (Right-Hand Wave with Girls as Centers and Boys as ends between Normal Couples)	しばしば、2回(twice)とコールされる。"0" は最も一般的である。"1" "2" (男性、または女性がセンターウェーブ)は、終る隊形で、彼らがアウトサイズになると指示すれば、壊れる重要な原因とはならない。(訳者注:センターが男性の場合、その男性が、終わった時にアウトサイズに行くとは指示すれば、壊れない。)
--------------------	---	--

Relay the Deucey

Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	コールは、ほとんど、このアレンジメントからかけられる。
---------------------------	---	-----------------------------

Single Circle to a Wave

Eight Chain Thru	All Arrangement	最も一般的なのは、"0" (Normal Couples)からである。
Double Pass Thru (Centers...)	All Arrangement	
Center Four dancers in Facing Couples	All Arrangement	

Spin Chain and Exchange the Gears

Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	コールは、ほとんど、このアレンジメントからかけられる。
---------------------------	---	-----------------------------

Spin Chain the Gears

Right-Hand Parallel Waves	"0" (Girls as centers and Boys as ends)	コールは、ほとんど、このアレンジメントからかけられる。
---------------------------	---	-----------------------------

CALL FORMATION(S) ARRANGEMENT(S) COMMENTS

Tea Cup Chain

Static Square	Normal Couples	ヘッド レディース センター フォー ア Teacup Chainテが最も一般的である。 パートナーとレフトアームターン、またはカートシ ーターンが先行すると成功率が高くなる。 サイド レディース トゥ ザ ライト を加えることも 必要であろう。
---------------	----------------	---

Track Two

Completed Double Pass Thru	"0" (Normal Couples)	コールは、ほとんど、このアレンジメントからかけ られる。
	"3" (Normal Couple Leading, With Half-Sashayed Couple following)	トレーラーが、リーダーの後ろについて行くことを 覚えていれば、成功するであろう。

Trade the Wave

Left-Hand Parallel Waves	"0"(Girls as ends and Boys as centers)	最も良くコールされるのは、レフトハンド ウェーブ を、ライトハンドウェーブに変える時である。 多くのダンサーは、最初に、テイク ア ピークを、 聞くものだと思っている。
Center Four dancers in a Left-Hand Wave (Centers ...)	Girls as ends and Boys as centers	コーラーが、誰が動くかを、はっきりさせれば、成 功する